

食品安全委員会 国際専門家招へいプログラム
「食品媒介感染症防止に向けた食品安全確保のための定性的・定量的
アプローチに関する国際シンポジウム」

主 催 : 内閣府 食品安全委員会
日 時 : 平成27年11月19日(木) 13:30~17:00
場 所 : 政策研究大学院大学 想海樓ホール
参加者 : 119名

プログラム

- 講演1 微生物学的リスク管理メトリクス
アイルランド食品安全庁食品科学・基準局長 Dr. Wayne Anderson
- 講演2 病原微生物による食品媒介感染症のリスク管理措置への微生物リスク評価の貢献
山口大学共同獣医学部教授 豊福 肇
- 講演3 安全な食品のためのリスク評価とリスク管理～評価においては変動と不確実性が必要、
管理においては個別的な判断が必要～
ワーゲニンゲン大学教授 Dr. Marcel Zwietering
- 講演4 食品媒介病原微生物の増殖・死滅挙動の数理モデル化
北海道大学大学院農学研究院准教授 小関 成樹
- 講演5 ベロ毒素産生大腸菌(VTEC)等による食品媒介感染症の分子疫学的解析
国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部部長 寺嶋 淳

概 要 : 微生物の国際的なリスク評価機関である JEMRA (FAO/WHO 合同微生物リスク評価専門
家会議) において専門家として活躍されているアイルランド食品安全庁食品科学・
基準局長の Dr. Wayne Anderson 及びワーゲニンゲン大学教授の Dr. Marcel
Zwietering、その他、国内の専門家より、変動と不確実性を踏まえたリスク評価手
法、リスク評価結果がリスク管理措置に貢献した事例や、腸管出血性大腸菌の遺伝
子型解析を用いたアプローチなどについて、紹介していただいた。最後に会場を交
えてのディスカッションを行いました。